

諫農高2年土木科生徒が現場実習

荒木組ら10社が協力



荒木組が施工する現場で実習する生徒ら

県立諫早農業高等学校は11月4～6日の3日間、建設現場実習を実施した。毎年この時期、同校土木科2年生を対象に技術向上を目指すために行われているもの。ことしは㈱荒木組など10社が協力。各社が担当する施工中の現場において、担当現場員指導の下、生徒らの実習が進められた。

伊木力第2・2期地区農道工事(諫早市多良見町)を担当する荒木組の施工現場では写真の撮り方、水準測量、トラバース測量、丁張りなどの実地が行われた。生徒らは緊張しつつも、実際の現場に目を輝かせていた。

今回、生徒を指導した荒木組工事部の野中信吾作業所長は、「学校で勉強したことを現場で応用するのは難しいと感じたと思う。現場を肌で感じ、実習で学んだことを実社会で発揮してほしい」と、生徒らの飛躍を願った。

今回、雨天の可能性も視野に入れカリキュラムに多少の変更はあったが、指導員の安全面への配慮が行き届いており、3日間の実習を無事終えた。

実習に協力した企業は次の通り。

▽吉川建設㈱▽㈱黒木建設・㈱野副建設JV▽㈱ウエノ▽大石建設㈱・大起建設㈱JV▽㈱荒木組▽㈱平山組▽星野建設㈱▽㈱三青▽㈱大建▽柴崎建設㈱